



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2021-22年度 国際ロータリーテーマ

2021-22年度 第2650地区スローガン



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

ーロータリーの基本を大切にー



鯖江ロータリークラブ会長方針

「元気に～いま、私にできることを～」

会長 帰山 明朗

第2993回 10/22(金)

10月第4例会

点鐘:12:40

テーマ 「未来をつなぐ地域の伝統工芸産業」

卓話 県立大地域経済研究所 教授 南保 勝 様

第2994回 11/5(金)

11月第1例会 点鐘:12:40

テーマ 「楓蔦黄(もみじつたきばむ)冬支度」

(有)デックデザイン研究所(一級建築士) 会員 西尾 俊一 様
(有)デックデザイン研究所ランドスケープデザイナー 西田 有紀 様

第2995回 11/12(金)

11月第2会

点鐘:12:40

テーマ 「ガバナーアドレス」

ガバナー公式訪問 卓話 馬場 益弘 様

10/22(金) 第2993回 例会報告

注:10月29日は休会です

鯖江商工会議所 4階大ホール

4つのテスト

出席率62%

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ ー タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

それでこそロータリー

口ずさむ程度にお歌いください。

来賓紹介と会長の時間

本日の見学者は、「らいふでざいん室・秀」代表の浅野秀代様です。ようこそおいでくださいました。

帰山 明朗 会長

10月24日は「世界ポリオデー」です。世界各地のロータリアンがクラブや地域社会と一体となり、ポリオ根絶のための活動を

を実施する日です。近年も136カ国で4,000を超えるクラブがイベントを立ち上げたり、ポリオ根絶の啓蒙や募金に貢献しています。

ご承知の方も多いかと思いますが、まずは改めてロータリーとポリオについて少しおさらいをしたいと思います。

ポリオとは

ポリオ(急性灰白髄炎)は、ウイルス感染に

よって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。

ポリオプラス

30年以上にわたり、ロータリーとそのパートナー組織は、ポリオを世界から根絶する取り組みを行っています。ロータリーのポリオプラスプログラムは、子どもを対象とした大々的な予防接種を通じてポリオの根絶をめざす、世界で初めての取り組みでした。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の中心的パートナーであるロータリーは、主にアドボカシー(政府への働きかけ)、ファンドレイジング、ボランティア動員、認識向上に貢献しています。ロータリー会員は、これまでに22億米ドル以上を寄付し、122カ国、約30億人以上の子どもに予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。また、アドボカシーを通じて各国政府からの100億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担ってきました。

ポリオの現状

1988年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例がありました。現在、ポリオの発生率は99.9%減少しており、野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ロータリーとパートナー団体によるポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとならずにすんだ人の数は推定約1940万人、命を落とすことのない人の数は推定150万人以上に上ります。ポリオ根絶活動のために築かれたインフラは、ほかの疾病(新型コロナウイルスも含む)の治療と予防にも利用されており、ほかの公衆衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。

課題

ロータリーとパートナー組織は、ポリオ根絶の実現に向けて大きく進展してきました。しかし、症例を完全に

なくすには、さらなる前進と粘り強さが必要とされます。アフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、場合によってはワクチンの拒絶や誤解といった課題に直面しています。十分なリソース、政府の全面的支援、遠隔地での活動を可能とするテクノロジーがあれば、これらの地域からもポリオを根絶できると私たちは信じています。

ポリオ根絶を実現するために

ロータリーは、ポリオ根絶のために毎年5000ドルを拠出することを目標としています。ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、ロータリーからポリオ根絶への寄付に対し、2倍額を上乗せすることを約束しました。これにより、ポリオ根絶に毎年合計1億5000万ドルが寄付されることとなります。これらの資金は、根絶活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、啓発用資料のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人がそれぞれに大きな役割を果たします。

活動するロータリー

100万人以上のロータリー会員が、ボランティアや募金を通じてポリオ根絶活動を支援しているほか、ポリオ感染リスクが高い国々に多くの会員が赴き、予防接種活動に参加しています。

また、UNICEF(国連児童基金)などの団体と協力し、紛争や地理的・経済的要因によって隔離された地域で予防接種への認識を高めるための情報資料を作成・配布しています。さらに、ボランティア動員やワクチン輸送など手配面での支援を行っています。

著名人からのサポート

ロータリーは、ポリオ根絶を支援する数多くの著名人からの協力を得ており、その数は年々増えています。以下にその一部をご紹介します:ビル・ゲイツ(ビル&メリンダ・ゲイツ財団共同理事長)、クリスティン・ベル、アーチ・パンジャビ(女優)、ジョン・シナ(プロレスラー、俳優)、イザベリ・フォンタナ(スーパーモデル)、デズモンド・ツツ(ノーベル平和賞受賞者)、ジャッキー・チェン、ドナルド・サザーランド(俳優)、マニー・パッキョオ(ボクサー)、PSY(歌手)、ジャック・ニコラウス(プロゴルファー)、ジェーン・グドール(自然保護活動家)、イヴァーク・パールマン(バイオリニスト)、A.R. ラフマン、

卓話 教授 南保 勝 様

テーマ「未来をつなぐ地域の伝統工芸品産業」



孝久 治宏 プログラム委員長

私は、縁があって越前漆器(協)漆器展覧会の審査員を務めています。南保教授は、その審査委員長であります。その講評で、「文明は広く周辺に波及し伝播してゆく。文化は地域で他と違った言葉、習慣、技術、感覚を生み出す。それが文化」と文化文明論を紹介して

いただきました。本日のテーマは「未来をつなぐ地域の伝統工芸品産業」です。宜しくお願いします。

卓話者：日本銀行福井事務所長 中村健一 様

テーマ：「金融経済情勢について」

この秋、東京で開催された56回目の全国漆器展では、鯖江市の越前漆器協同組合が最高の「桂宮賞」に輝きました。同組合の受賞はこれで16度目となります。個人部門でも6点が入賞しましたが、このうち経済産業省製造産業局長賞に選ばれた「陶漆 五色片口小鉢(とうしつ ごしょくかたくちこぼち)」は、薄作りの越前焼に漆を塗った5枚組の器で、縁の片側には注ぎ口もあり、酒器や小鉢にも使える多用途、多機能型に特徴があります。そのほか、本物志向のワイングラス、家飲みが楽しくなるような「酒器」など、コロナ禍時代を逆手に取った作品や、江戸時代を彷彿させる「飯椀(ごはんを盛るお椀)」など、時空を超えて楽しめる斬新な作品が数多く出品され、伝統的とは言われるものの、漆器産業が間違いなく日々進化していることを確信させられました。

ところで、今年の1月現在、経済産業省から指定を受けた伝統的工芸品の品目数は236品目を数え、それ以外の一般の郷土工芸品、例えば鯖江市で言えば「石田縞」とか、越前市の「指物」などを入れると、全国に1,200品目ぐらいあります。従って、日本にある工芸品の約2割が伝統的工芸品ということになります。この伝統的工芸品の指定を経済産業省から受けると、後継者の育成、技術・技法の伝承、事業の共同化、原材料対策、需要開拓など様々な面で、国や県の支援を受けられるということで、工芸品産地にとっては産地振興の有効な手段ということになります。

この伝統的工芸品ですが、今、福井県には7品目を数え、全国の約3%を占めています。福井県の経済力が日本の0.6%であることを考えると、福井県はまさに伝統的工芸品の一大産地といえるでしょう。

では、何故、福井県ではこうした伝統的工芸品づくりが盛んになったのでし

アンジェリーク・キジョー、ジギー・マーレー(グラミー賞受賞ミュージシャン)、ヌール・ヨルダン王妃(平和唱道者)これらの著名人はロータリーの親善大使として、ポリオに関する啓発や根絶活動を応援しています。

結び

以上、10月24日の世界ポリオデーにちなんで、色々とお話をさせていただきました。世界のロータリアンの願いである「ポリオのない世界」という究極の目標に向けて、当クラブとしても頑張ります。毎年会員各位には温かいお力添えをいただいておりますが、今年度も是非、ポリオプラスの寄付事業にご協力を宜しくお願いいたします。

幹事報告

佐野 直美 幹事

・12月12日(金)ガバナー公式訪問による、例会開始時間が、12時20分から13時までの例会となります。昼食は11時30分からご用意させていただきますが、お仕事の都合で早く来られない方は、例会後にお召し上がりください。

・10月31日にハーモニーホールふくいにてコンサートがあります。吉田会員のお嬢さんのご主人が演奏します。

・11月5日から4回にわたって、「フードドライブ」事業がスタートいたしますので、どうぞ皆様の未使用で賞味期限の切れていない食品がございましたら、例会時にお持ちいただければ森屋会員が市役所の方に持って行っ

てくださいますので、よろしくお祈りいたします。

ようか。それには、この地域がそれら工芸品を根付かせる気候条件を保有していたことや、歴史的に見て、この地が大陸文化の往来の地であったこと。さらにこれらの伝統的工芸品産業が、それぞれの補完機能を高めるために、お互いが連携しながら産地の維持・発展に努めてきたことなどが挙げられます。例えば、福井県では、古くから打ち刃物の販売を漆器産地の漆かき職人が行っていたことや、越前筆筒の制作には漆と打ち刃物の技術が必要であったこと。そして、今回受賞した小鉢のように、漆器と越前焼、和紙と漆器といったコラボによる製品づくりがなされていたこと等がそれでありませう。

ところで、これら伝統的工芸品の発祥を振り返ると、古の時代から存在していたことは言うに及びませぬ。福井県で言えば、漆器や和紙は古代、若狭瑞瑠、越前筆筒は奈良時代、越前焼も平安時代に成立していました。このように、伝統的と呼ばれるだけあって、かなり昔からあったということがわかっていま

す。そして、古代と言え、福井県では、あの越国が存在し、507年には第26代、継体天皇を輩出したことや、これと併せて、この時代、伝統的工芸品産業以外に、大変重要な産業が存在していたことも確認しなければなりません。それは若狭・越前地方を中心とする「塩づくり」であります。特に、若狭の塩は、6～8世紀の奈良時代、全国の塩産出量の約4割を占め、大いに発展したといわれています。しかし、江戸時代には瀬戸内の塩にその地位を譲ることになりまし

た。では、なぜ塩づくりは衰退し、伝統的工芸品は今まで生き延びたのでしょうか。その理由は、伝統的工芸品が技術やデザインなどで誰にでもそう簡単にまねのできない特徴を持っていたこと。さらに、伝統的工芸品は、地元の多様な産業とコラボして、さらに新しい価値を創り続けていったためではないでしょう

か。一時期、消費ニーズの変化とともに停滞感を強めた時代もありましたが、最近はちょっと新しい動きも見えてきました。例えば、岩手のカラフルな南部鉄瓶がフランスで人気を呼んだことは記憶に新しいです。前述した越前漆器も技術や、デザイン、そして流通面でも世界の市場で対応可能な体制整備に乗り出しています。また、越前打ち刃物、越前和紙、越前焼などでも、そこに多くの若者が入り込み斬新なモノづくりに取り組んでいます。こう考えると、福井県では伝統的工芸品産業が再び新しい輝きを見せ始めているようにも感じます。

さらに時代は、地方創生が示すように、東京一極集中、中央集権から地方分権、地方圏の時代に。今や中央政府がコントロールし、日本全体を発展させることができない時代となりました。また、人々の消費活動も、多様化、高度化、複雑化、細分化し、マスプロダクト、マスマーケットでは対応できない時代でもあります。こうした時代だからこそ、伝統的工芸品が手仕事の技を十二分に発揮しながら、未来を繋ぐ産業として発展できる時代がやって来たといえるのではないのでしょうか。

にこにこBOX報告

- | | |
|-----------|--|
| 帰山 明朗 会員 | 南保先生ありがとうございます。浅野様ご入会お待ちしております |
| 佐野 直美 会員 | 様の卓話を楽しみに 浅野様へ鯖江RCへようこそ素晴らしい会員様達との楽しい会です。是非仲間! |
| 野中 敏昭 会員 | 先週長女の結婚式がありました。偶然にも土井さんが司会をしてくれました |
| 吉田 俊博 会員 | 先日帰省した孫がおじいちゃんち一緒にお風呂に入りたくて背中を流してくれました。夏に行った温泉では嫌だと言っていたのですがなんの心境の変化でしょうか理屈抜きに嬉しかったです。南保先生の卓話を楽しみに |
| 齋藤 多久馬 会員 | 南保様の卓話を楽しみに |
| 酒井 芳則 会員 | 〃 |
| 窪田 健一 会員 | 〃 |
| 大橋 良史 会員 | 〃 |
| 小淵 洋治 会員 | 〃 |
| 梅田 吉臣 会員 | 〃 ちょっといいことがありました。 |



ニコニコ箱発表
小淵洋治
ニコニコ委員長